

2025年11月 1日

退職教職員協議会双葉支部会員のみなさま

福島県退職教職員協議会

双葉支部 事務局

退教協双葉支部「退教協ニュースNo.419号」 の送付にあたって

暑さが収まったと思いきや、あっという間に初雪の便りが届くようになりました。季節の移り変わりが昔とは異なってきたように感じる方はたくさんいらっしゃると思います。地球温暖化が影響しているかなと思いますが、その対策は一向に進んでいないのが現実です。本来世界をリードすべきアメリカ合衆国の大統領が、何の根拠も示すことなく「地球温暖化は現実には起きていない」とか「史上最大の詐欺だ」と一方的に主張するようでは温暖化は野放し状態が続くこととなります。

国内的には、公明党にかわって維新の会が与党に加わり、高市総裁が総理大臣に指名されました。「初の女性首相」とはいうものの、私たちが求めてきたジェンダー平等、夫婦別姓とは距離を置いてきた政治家です。東日本大震災にともなう東電福島第一原発事故については「福島原発事故で死者なし」と発言し、自民党議員からも非難を受けました（後日撤回）。何よりも裏金問題を抱える萩生田議員（旧安倍派）を幹事長代理に据える党人事は、「政治とカネ」の問題はすでに終わったと宣言するようなもので、国民の意識からはかけ離れたものです。憲法改悪、防衛力（軍備力）増強、排他主義など、さまざまな部分で危険性をはらむ内閣になることが怖いのです。これまで以上に注視していく必要があります。

【高市総理のこれまでの主な主張】

・日本国憲法改正（私たちは「改悪」）（「戦争の放棄」などの条項を削除、「国防軍」の明記） ・皇位継承における女性宮家・女系天皇の反対 ・外国人の入国基準の厳格化 ・防衛費の増額 ・靖国神社への参拝の継続 ・村山談話に対する批判 ・選択的夫婦別姓に反対 ・教育勅語に賛成
・「アベノミクス」から「サナエノミクス」（安倍政権への回帰） ・教育基本法改正への賛同（「道徳心」「自主及び自律の精神」や「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」などの条文）
…などなど、ほんの一部です

たくさんの方の参加をお待ちしています! 各地区交流会開催!

別紙のとおり、各地区交流会を開催します。県内外に避難をしている支部の会員が、一つの会場に集まるというのは困難と判断し、せめて地区ごとに開催してはどうかということになりました。参加のハードルは少しは下がるかと思えます。県外にお住まいの方にとっては、それでも参加は難しいかと思いますが、ご自宅等に戻るのを兼ねて参加するというのもよろしいのではないのでしょうか。今回の交流会開催にあたっては、いつもお世話になっている「全国退職教職員生きがい支援協会」様と「福島県退職女性教職員あけぼの会双葉支部」様にも共催に加わっていただいております。

県退教協の 会報が発行 されました

双葉支部の会報（10／1発行）を送付してから県より送られてきたため、今回の支部会報の発行に合わせて送付いたします。後期高齢者医療における「配慮措置」の終了による影響に

ついて書かれていますので、ぜひお読みください。また、「福島県平和フォーラム」という団体の新聞も同封いたしました。原水禁福島大会のことなどが紹介されておりますので、関心のある方はご一読いただければと思います。

原稿を
お待ちしております



前号で「原稿ピンチ」のシグナルを送りましたら、複数の方から原稿が届きました。ありがとうございます。引き続き、近況報告、または昔の思い出、さらには現職時代の写真など、提供をよろしくお願いします。短歌や俳句なども大歓迎です。メモ的なものでもどうぞ。

○ 住所等の変更及び会報の原稿は、下記の連絡先までお願いいたします。

○ 連絡先 (事務局長) 柴口正武 宅

〒976-0036 相馬市馬場野字寺内175-5

※ 電話は 090-2604-8941

※ ファックスは 024-522-7751

(弘済会福島支部／柴口勤務先)

※ 電子メールは shibaguchi0211@gmail.com



2025年11月 1日

第419号

退教協 ニュース

結婚パーティをしてくれた子どもたち

相馬市（浪江町）柴口正武

先日、郡山市に住んでいる孫の幼稚園の運動会がありました。その幼稚園に勤めている先生の一人が、私が初任校で担任した子どもでした。「柴口」という姓を見て、教え子の方から私の息子にたずねてくれたそうです。

その子は当時小学校5年生。その学級はとてもおもしろい学級集団でした。学級会の話し合い活動や集会活動が大好きな学級で、低学年を招待してのお祭り集会をしたり、冬休みに丸一日を費やしてのクリスマス集会をしたりする子どもたちでした。

私は、その年度末に入籍をし、次年度の5月に結婚式、披露宴を行いました。結婚休暇をとった後、ある子どもから日曜日に集会をしたいので体育館を借りたいと依頼を受けました。とにかく突拍子もないことを考え付く子どもが多くいて、このようなことには私は慣れていました。それでも、（また、めんどくさいことになったな）と思ったのも事実です。どういうつもりで集会をするのかは、その時は本当に分かりませんでした。とりあえず許可はもらったと伝えた何日か後、招待状が届きました。私と妻宛てのものです。「結婚パーティー」を開いてくれるとのことでした。



「結婚パーティー」当日は、子どもたちが企画したゲーム等で楽しい一日を送ることができました。

その23年後、東日本大震災・東電福島第一原発事故が発生し、私たち家族は郡山市を当面の避難場所としました。震災後、私のことを心配するその時の学級の子どもたちから連絡が来ました。私を励ます会を開いてくれるというのです。もちろん、今、孫がお世話になっている幼稚園に勤務する教え

子も来てくれました。

私は、子どもたちに恵まれたなと思える教員生活を送ることができました。それは、彼らがおとなになっても、こうしてつながっていただけることからとも言えることです。私は、教員という道を選んで本当によかったと思っています。

運動不足解消

by Monster 松



(…あの子たちの卒業後には、実は続きがありました…)

あの子どもたちを卒業させた次年度は、1年生担任となりました。当時の教頭先生のことばは、「あなたしか1年生を希望しなかったからなあ」というものでした。仕方なかったみたいなことを言われはしたものの、念願の1年担任になれてとてもうれしかったです。そして、最初の日曜参観日のこと。後ろに並ぶ保護者の中に、決して少なくない数の中学生の姿（数えていなかった）。あの子たちでした。「心配だから見に来てあげたよ」だそうです。よほど頼りない担任だったのでしょね。1年生の保護者だけでなく、担任の「保護者」までたくさん来てくれた参観日でした。

……………
(事務局より) 次号は、高野正美さんのシリーズ「ああ、懐かしき 双葉高等学校硬式野球部」第一章「憧れ」の続きをお送りします。



2025年11月 1日

退教協双葉支部、並びにあけぼの会双葉支部
会員のみなさま

福島県退職教職員協議会
双葉支部長 杉本 征男

双葉支部 各地区交流会開催のお知らせ

秋晴の候、皆様方にはご健勝のこととお喜び申し上げます。また、当支部の取り組みに対するご協力に感謝申し上げます。

双葉支部では東日本大震災後も総会を行ってききましたが、コロナ禍により紙面による報告・提案をもって総会に代えさせていただきました。昨年度は、会報の「400号」発行を記念し、コロナの影響も少なくなってきたことにより富岡町で集会を行うことができました。しかし、県内外に避難を継続し、さらに車の運転も控えている方も多くいらっしゃるから、支部として一堂に会して総会を開催することはできませんでした。

そこで、県内を5地区に分けて、以下のとおり交流会を開催したいと思います。各地区何人集まるかは分かりません。参加できない場合には「メッセージ」をいただいて、近況共有などをはかりたいと思います。ぜひ、ご参加くださいますようよろしくお願いいたします。

また、あけぼの会双葉支部にも共催に加わっていただき、あけぼの会の会員のみなさまにもぜひご参加いただきたくご案内申し上げます。

記

1. 主催 福島県退職教職員協議会双葉支部

2. 共催 (一財)全国退職教職員生きがい支援協会
福島県退職女性教職員あけぼの会双葉支部

3. 目的

避難先ごとに交流会を開催することにより、遠出が困難になった会員同士の親睦を深める。

4. 日時、会場

- (1) 福島会場 11月25日(火) 11:30～ 福島県教育会館
〒960-8534 福島市上浜町10-38 / (電) 024-523-0206
- (2) 郡山会場 11月26日(水) 16:00～ 郡山教組会館
〒963-8025 郡山市桑野2丁目33-9 / (電) 024-932-2144

- (3) 会津会場 11月27日(木) 11:30～ 会津労働福祉会館
〒965-0877 会津若松市西栄町7-9 / (電) 0242-28-0088
- (4) 相双会場 11月29日(土) 11:30～ 富岡町文化交流センター「学びの森」
〒979-1151 双葉郡富岡町本岡王塚622-1 / (電) 0240-22-2626
- (5) いわき会場 11月30日(日) 11:30～ いわき市労働福祉会館
〒970-8026 いわき市平堂ノ前22 / (電) 0246-24-2511

5. 参加費 500円 (会場費、お弁当を含みます)
※ 旅費・日当等の支給はありません。

6. 申し込み締め切り 11月14日(金)(各会場とも)

7. 内容

※ 当日の出席状況等により、順序等が変更になることがあります。

- (1) 退教協双葉支部長(または役員)あいさつ
- (2) あけぼの会双葉支部長(または役員)あいさつ
- (3) 来賓あいさつ
 - ① 福島県退職教職員協議会地元支部長
 - ② 福島県教職員組合地元支部長
 - ③ (一財)全国退職教職員生きがい支援協会(メッセージ)
- (4) 食事・交流会
 - ① 食事会(お弁当を準備します)
※ 郡山会場については、お弁当に代わるものを準備いたします。
 - ② 交流会
- (5) 支部事務局より

8. その他

- (1) 出欠については、別紙「地区交流会参加申し込み書」を郵送かファックスで送るか、事務局長(柴口)まで電話でお願いいたします。
- (2) 参加はお一人1回とさせていただきます。
- (3) 本案内は、退教協双葉支部、あけぼの会双葉支部の、すべての会員にお届けしています。どこの会場に参加するかは避難先に限らず自由です。
- (4) 各会場担当者
 - ・福島会場(柴口正武)
 - ・郡山会場(柴口正武)
 - ・会津会場(柴口正武)
 - ・相双会場(松本昭子)
 - ・いわき会場(杉本征男)

ファックス、または郵送の場合は、この申込書に必要事項をご記入の上、このページを切り取ってお送りください。

ファックス 024-522-7751 (弘済会福島支部)

郵送 〒976-0036 相馬市馬場野字寺内175-5 (柴口正武宅)

電話 090-2604-8941 (柴口正武携帯)

※ 電話での申し込みの場合も、以下の申込書の内容をお聞きます。

地区交流会参加申し込み書

以下のとおり、地区交流会に参加します。

氏名	
----	--

※会員名簿と変更がない場合は記入しなくても結構です。

住所	
連絡先(電話番号など)	

参加地区	福島	郡山	会津	相双	いわき
------	----	----	----	----	-----

※いずれかに○をつけてください。

同行者 ※会員でなくても参加を歓迎いたします。お弁当等も準備します。

--

(参加しない方でメッセージをお寄せいただける方は下の欄にご記入ください。)

--

メールでの申し込み、問い合わせ等は以下のアドレスにお願いいたします。

shibaguchi0211@gmail.com

